

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年1月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年1月9日～26日
- 調査対象 200社
- 回答企業 107社
- 回収率 53.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の1月の状況を見ると業況DIは、前月より4.6ポイント悪化の▲11.3となった。

2017年9月以来5ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、建設業、製造業、卸売業、小売業の4業種において悪化した。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲11.3、当月に比べ横ばいを見込んでいる。

業種別でみると、建設業で悪化が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	先行き見通し 2018年2月～4月
業況	1.9	▲4.7	▲6.9	▲14.7	▲6.7	▲11.3	▲11.3
売上	4.7	8.5	▲0.9	▲0.9	6.7	2.8	▲1.0
採算	▲1.9	▲2.9	▲10.4	▲13.8	▲7.7	▲17.8	▲15.9
仕入単価	▲24.7	▲34.0	▲31.3	▲39.5	▲33.3	▲41.1	▲40.2
従業員	29.5	35.9	34.8	32.1	35.2	30.8	33.7
資金繰り	7.6	▲4.8	▲3.5	▲11.0	▲2.9	▲5.6	▲6.5

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 8月	9月	10月	11月	12月	2018年 1月	先行き見通し 2018年2月～4月
建設	4.0	23.1	7.2	0.0	3.7	▲3.7	▲14.8
製造	11.5	9.1	▲4.2	▲4.4	0.0	▲7.4	▲7.4
卸売	▲5.0	▲13.6	▲8.3	▲13.6	▲13.1	▲19.0	▲14.3
小売	▲6.7	▲17.7	▲5.6	▲46.6	▲26.7	▲33.3	▲26.6
サービス	0.0	▲36.8	▲28.5	▲25.0	▲6.3	0.0	5.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・降雪量が多く予定工事が遅れ売上が減少(型枠工事) (建築) ・政府は賃金 3%アップを望んでいるが当社としてどうするか検討中。安倍総理は賃金 3%アップした企業は法人税を 25%下げるといっているが実現するのだろうか(設備その他) ・技術者の人手不足(総合工事) ・技術職員不足。生産性向上(設備その他)
製造業	・需要は増大している。従業員の能力向上と高齢従業員の定年延長が課題(金属窯業他) ・受注状況は前年比 110%程度で推移。特需の増加傾向を認める(家具木材) ・昨年度から受注は堅調。現状では 4 月ぐらゐまで全く心配ないが、人材確保が懸念材料(金属窯業他) ・本州の天候不良(雪寒さ等)により農産物が今年の 3～4 倍の価格で推移。非常に苦慮している。価格転嫁する迄に 1 ヶ月程度かかる(食料品) ・前年のスポット案件が今年度見込めないこと、他の案件でカバーできないことから、売上高は前年実績を確保することは難しい状況。紙媒体のマーケットは、インターネットの普及拡大等により縮小傾向にあり、紙媒体での受注拡大は容易には見込めない。映像や WEB サイト等の案件も取り扱っているが、紙媒体の売上減少を埋めるには至っていない(印刷出版) ・所有生産設備の機能維持のための部品交換や修理費が大きくなってきている。主要仕入材料の値上がりが続いている(金属窯業他)
卸売業	・12 月・1 月と売上・粗利とも前年比を下回り低迷。2 月から年度末に期待したい。今後の見込み状況もあり良くないが策を練って維持したい(機械鋼材) ・前年度と同等の業況といえる(機械鋼材) ・鋼材等の仕入単価は上昇中である。ほぼ転嫁はできている(機械鋼材) ・原油価格の上昇に伴い、販売価格の上昇が見込まれる。その上げ幅は小幅なものと思われます(その他)
小売業	・仕入価格上昇が続いている。マージンの悪化(その他) ・工場機械の老朽化(食料品) ・原油価格上昇による仕入価格の値上がり。従業員不足と生産性向上の両面から営業時間の短縮を検討(その他) ・元旦にオープンする大型店舗が増え、1 月 2 日初売りが低調だが、日々平均的にお客様が来店されているので売上は前年同様になりそう。アウトレットショップが年中プライスダウン販売を行っており、セールのインパクトが全くなっております。(衣料品) ・従業員不足の改善がされない(その他)
サービス業	・今期は先駆けて導入した機械が売上に繋がったお蔭で売り上げ目標を達成することが出来た(その他) ・12 月末より、スキー場オープンにより海外よりスキー・観光客が多く、非常に忙しく 5～7%の売上増が見込まれる(理美容クリーニング) ・雪の影響もあり売上減少傾向にある(飲食) ・ホテル業界全体的に価格を下げて稼働を伸ばす傾向が 10 月より続いている。そのため、単価を上げるのが難しい状況。野菜が値上がりしており、朝食でサラダ(特に葉物)の種類を変えるなど工夫しているが原価が上がっている。今後の見通しは売上微増で、仕入等が上昇、採算は減少傾向にある。(ホテル・旅館) ・新車在庫台数減少。事故多発し、板金、塗装の在庫が増加した(整備業) ・原油価格の値上がり(運送)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI3.7 ポイント悪化、採算 DI3.7 ポイント悪化、仕入単価 DI7.4 ポイント悪化、資金 DI7.4 ポイント悪化、従業員 DI7.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.4 ポイント悪化となった。業種別では、設備その他 10 ポイント回復、総合工事 17 ポイント、建築 20 ポイント悪化となった。降雪量が多く予定工事が遅れ売上が減少との声も寄せられている。
製造業	売上 DI21.8 ポイント悪化、採算 DI27.2 ポイント悪化、仕入単価 DI17.2 ポイント悪化、資金 DI4.3 ポイント回復、従業員 DI13.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.4 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 7 ポイント、印刷出版 10 ポイント回復、家具木材横ばい、金属窯業他 22 ポイント悪化となった。本州の天候不良(雪寒さ等)により農産物が今年の 3～4 倍の価格で推移。非常に苦慮している。価格転嫁までに 1 か月程度かかるとの声も寄せられ
卸売業	売上 DI5.6 ポイント回復、採算 DI5.2 ポイント悪化、仕入単価 DI2.3 ポイント回復、資金 DI4.4 ポイント回復、従業員 DI15.8 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.9 ポイント悪化となった。業種別では、その他 25 ポイント回復、繊維・衣服等 33 ポイント、食料品 21 ポイント、機械鋼材 8 ポイント悪化となった。12 月・1 月と売上、粗利とも前年比を下回り低迷。2 月から年度末に期待したいとの声も寄せられている。
小売業	売上 DI 横ばい、採算 DI13.3 ポイント悪化、仕入単価 DI 横ばい、資金 DI13.4 ポイント悪化、従業員 DI13.3 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント悪化となった。業種別では、自動車 33 ポイント回復、衣料品 横ばい、食料品 33 ポイント、その他 35 ポイント悪化となった。原油価格上昇による仕入価格の値上がり。従業員不足と生産性向上の両面から営業時間の短縮を検討との声も寄せられている。
サービス業	売上 DI6.2 ポイント回復、採算 DI1.1 ポイント回復、仕入単価 DI9.6 ポイント悪化、資金 DI5.6 ポイント悪化、従業員 DI16.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 6.3 ポイント回復となった。業種別では理美容・クリーニング、その他、飲食、運送横ばい、ホテル・旅館 25 ポイント回復となったが、実体は「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体は横ばい。今期は先駆けて導入した機械が売上に繋がったお蔭で売り上げ目標を達成することができたとの声も寄せられている。